

アワーケーション共創プログラムモデルプランのご紹介【県西部】

タイトル	大嘗祭の『あらたえ』をめぐる三木家住宅と忌部神社 + 阿波和紙会館で伝統文化について学ぶ
訪問自治体	県西部 / 美馬市・吉野川市
コンセプト	三木家は天皇の代替わり初回の大嘗祭で着用される『あらたえ』を代々生産する阿波忌部氏の末裔であり、平成、令和の『あらたえ』も生産している。美馬市にある「三木家住宅」は今も三木家の一族が管理し、国指定重要文化財の江戸期茅葺古民家が残るほか、隣接の資料館には各種資料が展示されている。また、吉野川市にある忌部神社は忌部氏の租神をまつる社であり、当神社境内で織ったあらたえが、大嘗祭で使われている。忌部神社近隣の「阿波和紙伝統産業会館」では、1300年の歴史を持つ阿波和紙の紙すきや葉書づくり体験等ができる。こうした地域独特の歴史や伝統産業を企業が体感し、こうした伝統を維持するための取り組みの必要性について学ぶ機会を作る。

	訪問先一例	モデルプランのご紹介となりますので、行程は変更の可能性がございます。
AM	三木家住宅・資料館	徳島県最古の民家 忌部一族の末裔
	閑定の滝	穴吹川の支流、閑定谷川にある落差が33mの滝
昼	農家レストラン風和里	地元で採れた野菜を使った山の上のレストランです
PM	忌部神社	天皇即位後の大嘗祭（だいじょうさい）に調進する麻織物「麩服（あらたえ）」の制作に携わる神社
	阿波和紙伝統産業会館	阿波和紙づくり体験
		地元事業者の皆さんと意見交換会



三木家住宅



麩服献上の際の入れ物



あらたえの麻を刈り取った畑



阿波和紙伝統産業会館

県内地域事業者と連携し、地域関係者との交流を通じて、地域課題の解決策を共に考える「アワーケーション共創プログラム」を各種ご用意しております。各企業、事業者の目的や要望に合わせてマッチングプランをご案内いたします。詳しくはお問い合わせ願います。

問い合わせ先: ANAあきんど(株)徳島支店 / Mail : ml_oth_tks@ana-akindo.co.jp

